



朝日印刷株式会社

ASAHI PRINTING CO., LTD.

2017年3月期 決算説明会資料

2017年6月9日（金）

東証二部：3951
朝日印刷株式会社



京都クリエイティブパーク

目 次

1. 会社概要 P3

2. 朝日印刷の強み P11

3. 2017年3月期決算概要 P21

4. 中期経営計画AD2016計画振り返り P28

5. 新・中長期経営計画AD2021計画 P31

6. 今期2018年3月期 予測 P38



『パッケージ 青い光』

1. 会社概要

経営理念

【創業200年の夢】

“自分の子供や孫の世代も入社させたい”

朝日印刷グループで働く世界中のだれもが、
そう思える会社を創りたい

私達は、美と健康の包装に関する分野で
包むこころを大切に

日本と世界へ新しい包装文化を発信する



代表取締役社長 濱 尚

所在地

富山県富山市

創業

1872年(明治5年)

設立

1946年5月(昭和21年)

上場市場

東証二部

資本金

1,669百万円

主要事業

印刷・包装資材の製造・販売
包装システムの販売・人材派遣

従業員数(連結)

社員・嘱託	1,589名(2017.3月末)
平均年齢	34.5歳

明治 5年	1872	小沢活版所（個人経営）として現富山県魚津市にて 創業
昭和21年 5月	1946	富山市にて朝日印刷紙器(株)を 設立

►昭和30年代前半 医薬品印刷包材に特化

昭和39年 4月	1964	東京営業所（現東京支店）開設
昭和44年 8月	1969	大阪営業所（現大阪支店）開設

►昭和50年代前半 化粧品印刷包材に進出

平成元年10月	1989	富山工場を新設
平成 5年 8月	1993	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成14年 3月	2002	商号を朝日印刷株式会社に変更

東京証券取引所市場第二部に上場

平成15年11月	2003	富山工場敷地内に富山第二工場を新設
平成20年 6月	2008	富山東工場を新設
平成22年 9月	2010	富山南工場を新設
平成26年 7月	2014	Asahi Printing Singapore Pte. Ltd 子会社新設
平成27年10月	2015	京都クリエイティブパーク稼働開始



明治 8年 版権免許之証

製品紹介（印刷包材事業）



OTC医薬品・配置薬



医療用医薬品



医薬品ラベル・添付文書

「GMP*」に準拠した高度な印刷技術・
品質管理水準が求められる医薬品包材

* GMP：医薬品の製造と品質管理の基準



化粧品



健康食品・食品

高意匠な表現技術が求められる化粧品・健康食品包材

包材の開発とオリジナルな包装システムのトータル提案

キャップホールディングトレー



キャップホールディングトレー

2013年度（平成25年）
医薬品・医療品包装部門賞を受賞

自動化・コンパ外化を
実現（特許出願中）



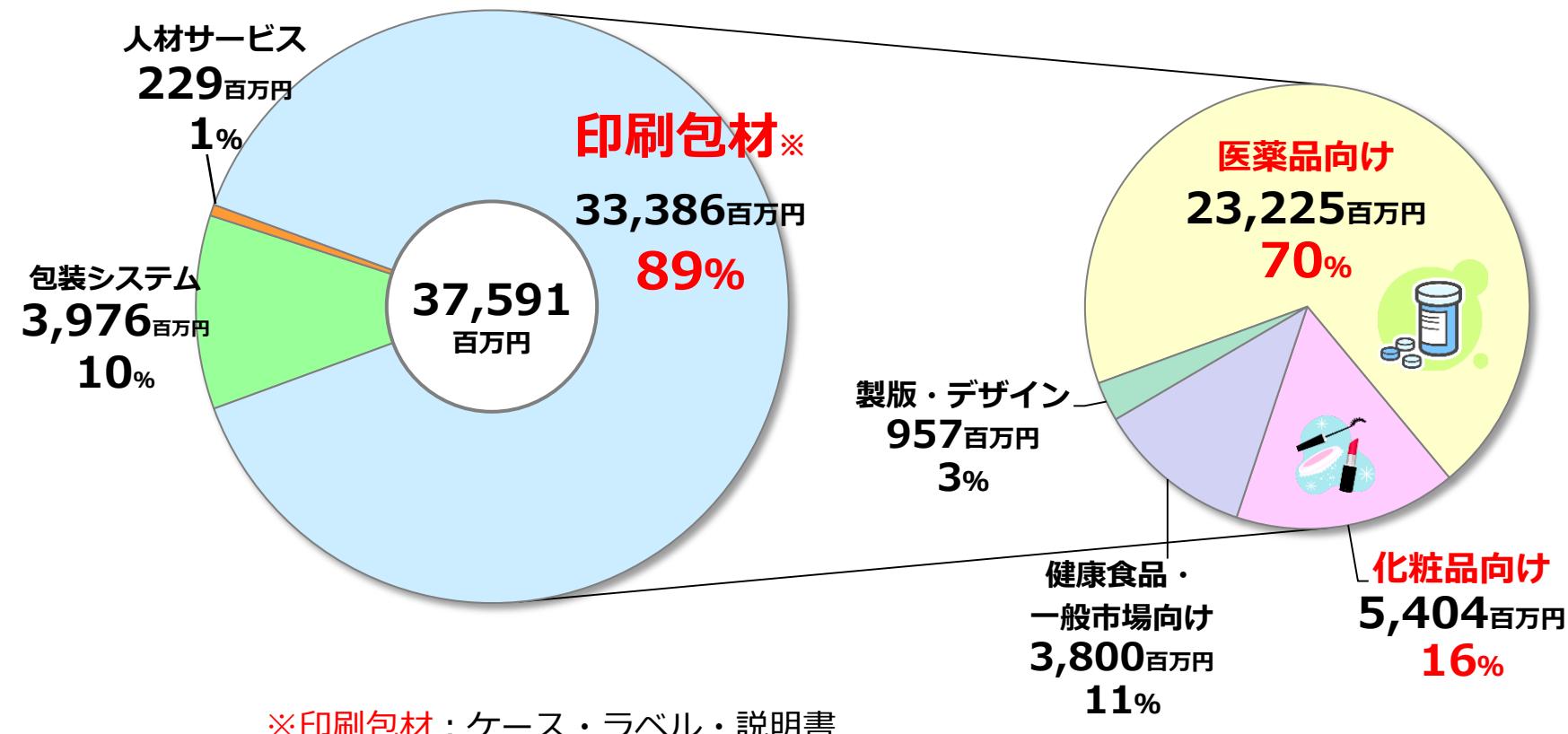
GS-1バーコード印字システム



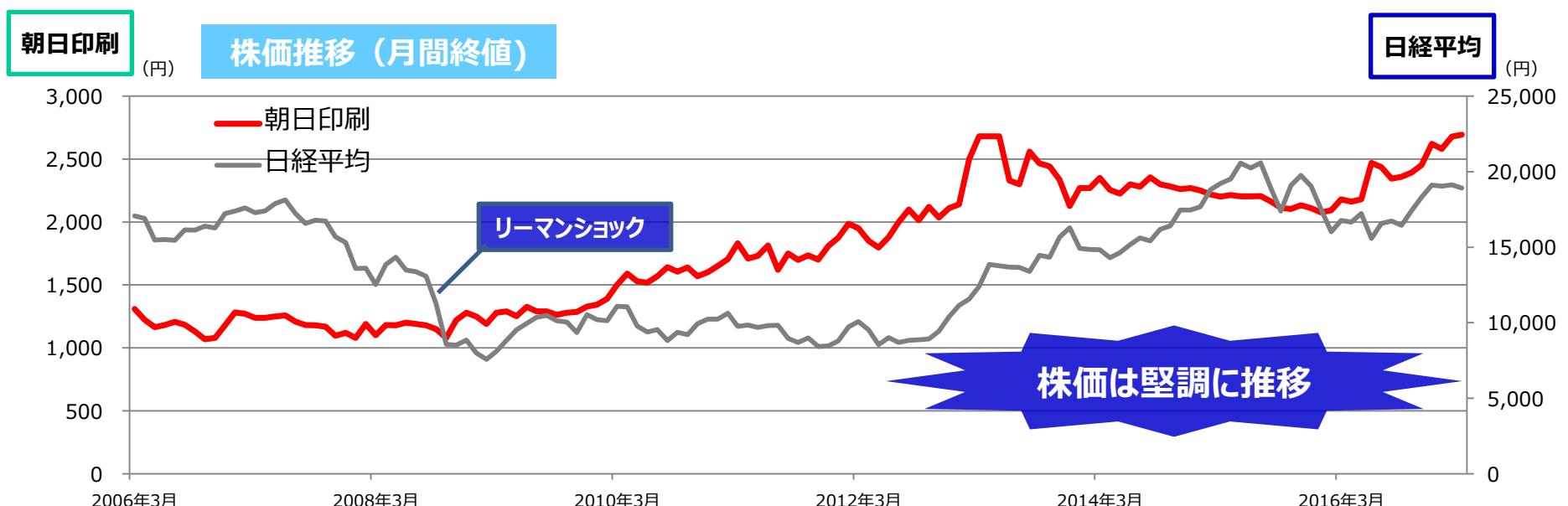
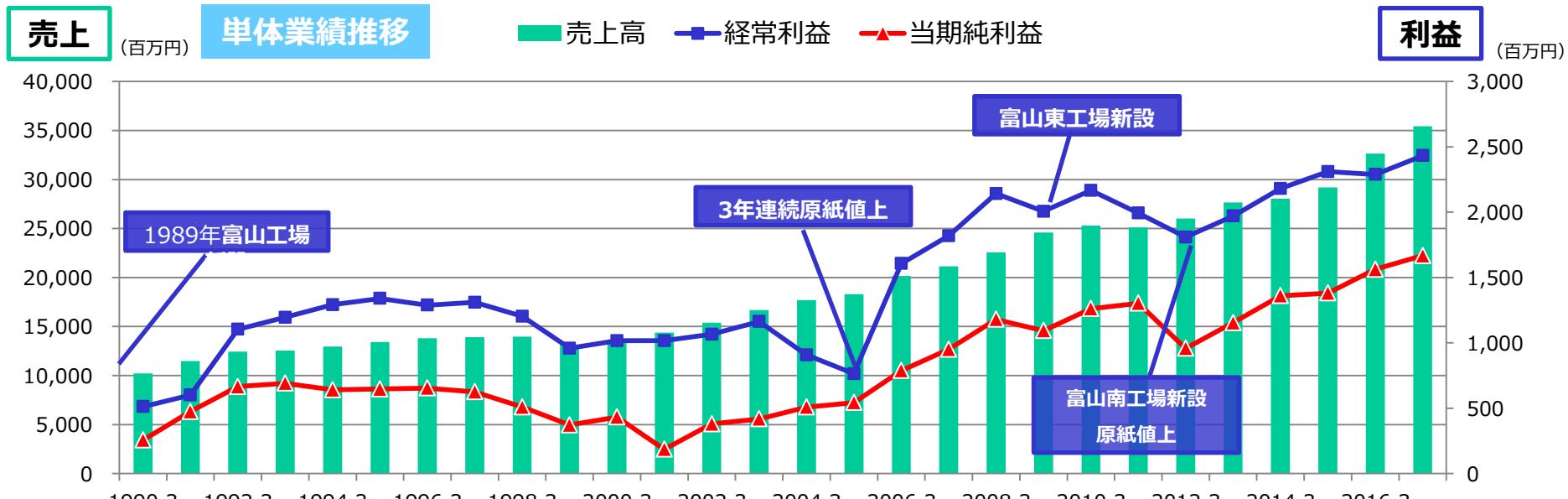
医療用医薬品の必須条件であるGS-1コードの
印字・検査を同時実施



セグメント別・市場別売上の構成



朝日印刷(株)の業績と株価推移



株価は堅調に推移



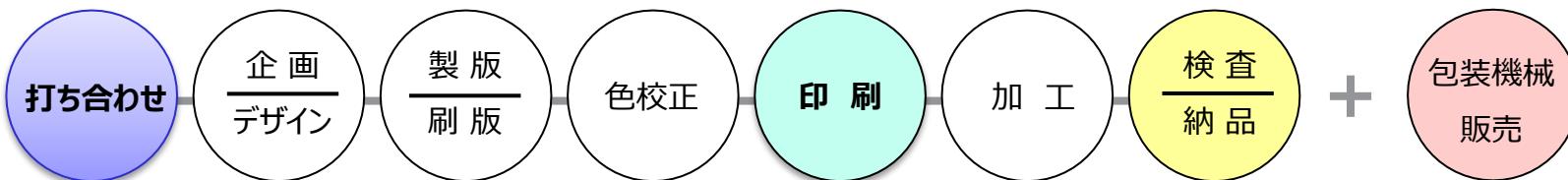
『インキ調肉用へら』

2. 朝日印刷の強み

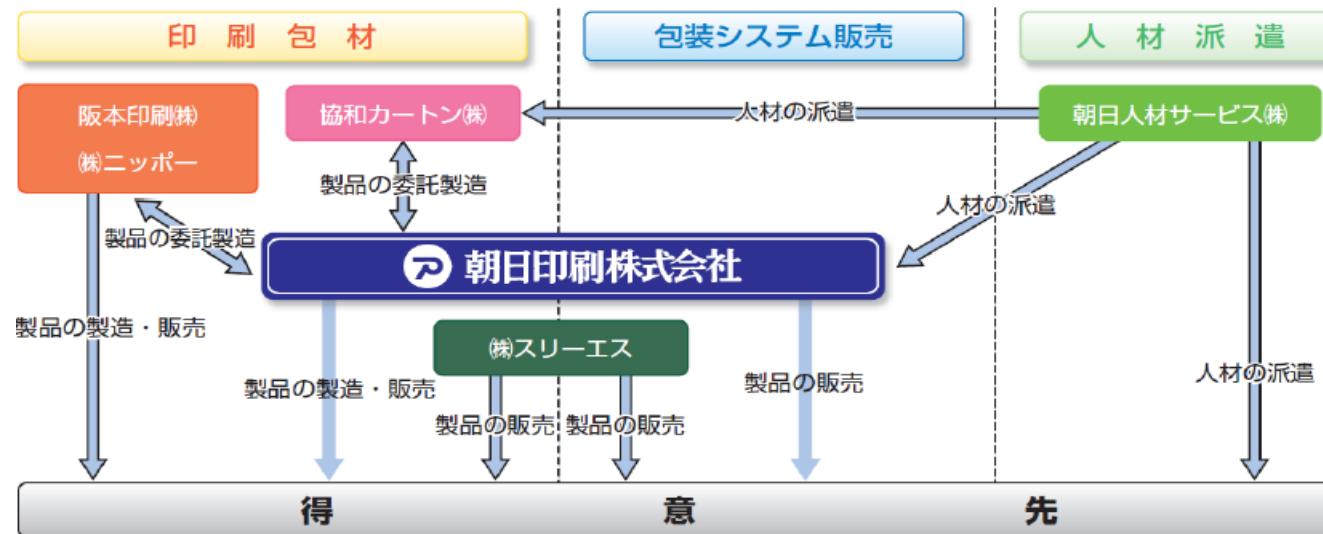
グループワンストップサービスで同業との差別化を実現

医薬品・化粧品包材の

設計・デザインから製造・包装まで を自社グループで提供



グループ相関図



現在の販売拠点と製造拠点



富山工場/富山第二工場/富山第三工場



本社



富山東工場



富山南工場



京都クリエイティブパーク

クリエイティブセンター/富山営業部

協和カートン(株)

(株)ニッポー

朝日人材サービス(株)

滋賀営業所 金沢営業所

京都営業所

神戸営業所

山口営業所

福岡営業所

熊本営業所

海外子会社
(シンガポール)

徳島営業所

■ 国内販売拠点 20 拠点

- 富山工場
- 富山第二工場・富山第三工場
- 富山東工場
- 富山南工場
- 京都クリエイティブパーク

■ 国内製造拠点

■ 海外拠点

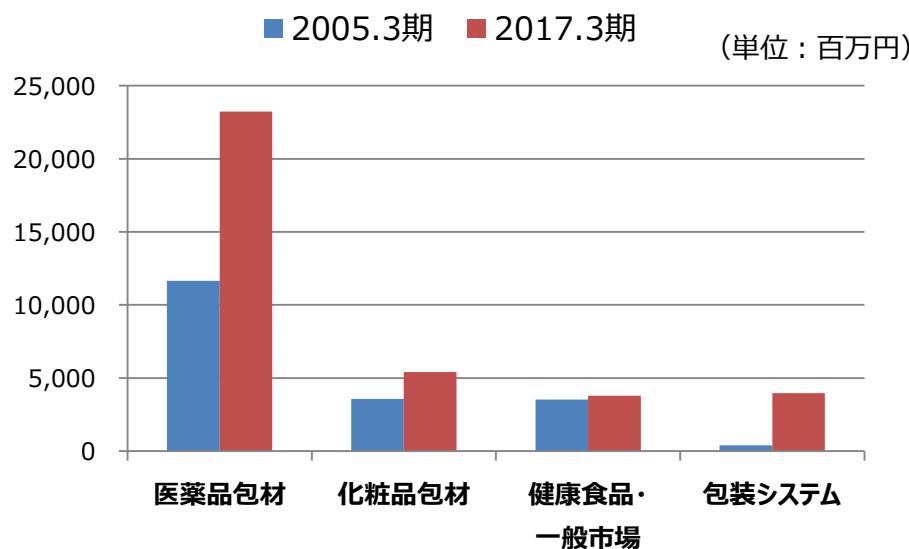
- Asahi Printing Singapore Pte.Ltd (シンガポール)



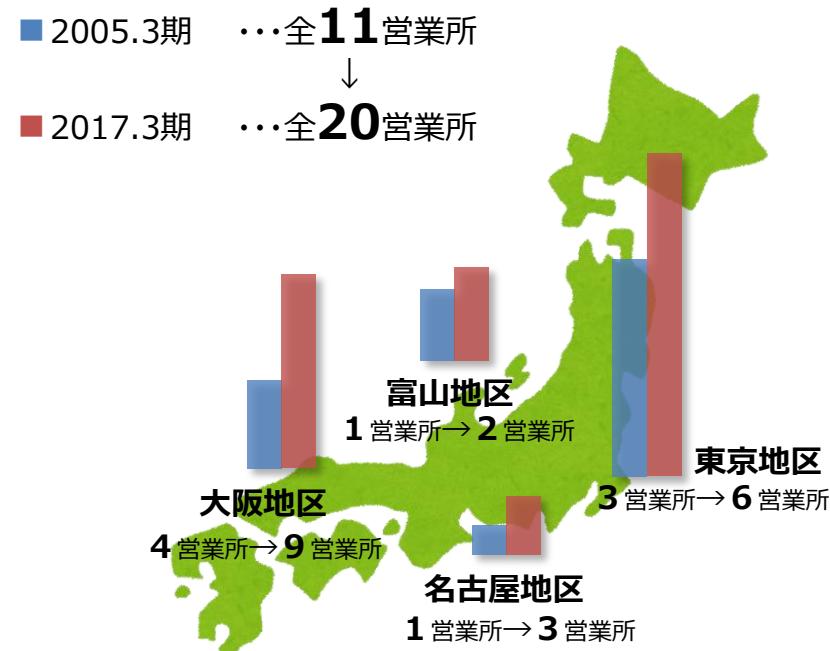
連結子会社

2005年と2017年の市場別売上高・販売拠点別比較

<市場別売上高の比較>



<販売拠点数・売上高の比較>

■ 偏りのない数多くの得意先との取引 (トップの得意先で売上の3%程度)

- （ 国内製薬メーカー (外資系を含む) **上位 100社中 91社**との直接取引
- （ 国内化粧品メーカー (外資系を含む) **上位 30社中 22社**との直接取引

■ 全国 20 拠点の販売網による**地域密着型の提案型営業**(得意先の 90%以上が 50km圏内)

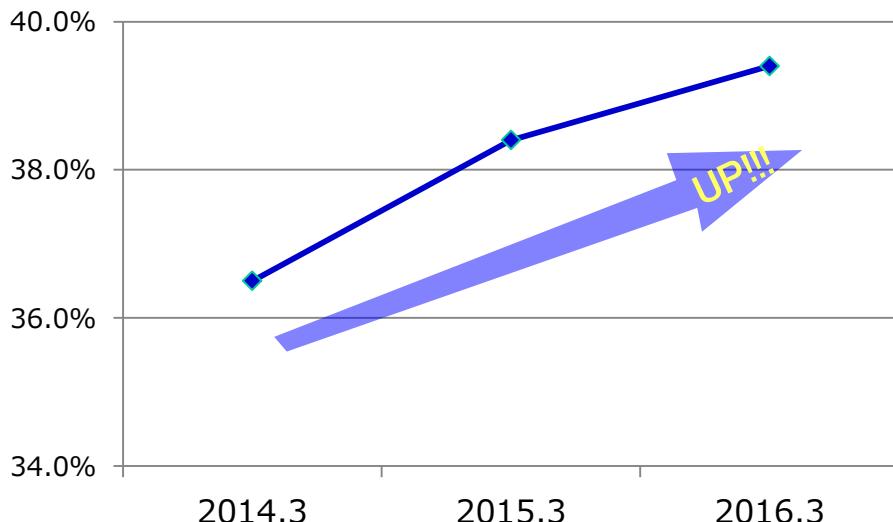
市場別の業界シェア

※推定市場規模は当社調査による

・ 医薬品印刷包材市場 推定市場規模 (59,000百万円)

シェア第 1 位

2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
36.5%	38.4%	39.4%

・ 化粧品印刷包材市場 推定市場規模 (23,000百万円)

シェア第 2 位

2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
19.3%	22.1%	23.5%



高い参入障壁

医薬品包材

■ 人命に関わる包装物

⇒ 表示に関する専門的な知識と
薬機法やGMPに準拠した製造が求められる

■ 長年のノウハウの蓄積

徹底した品質管理体制と品質保証体制

⇒ 高品質な製品の提供

化粧品包材

■ 多種多様な設備

様々な印刷・加工技術

⇒ 高付加価値な製品の提供



品質マネジメントシステム
ISO 9001 登録証

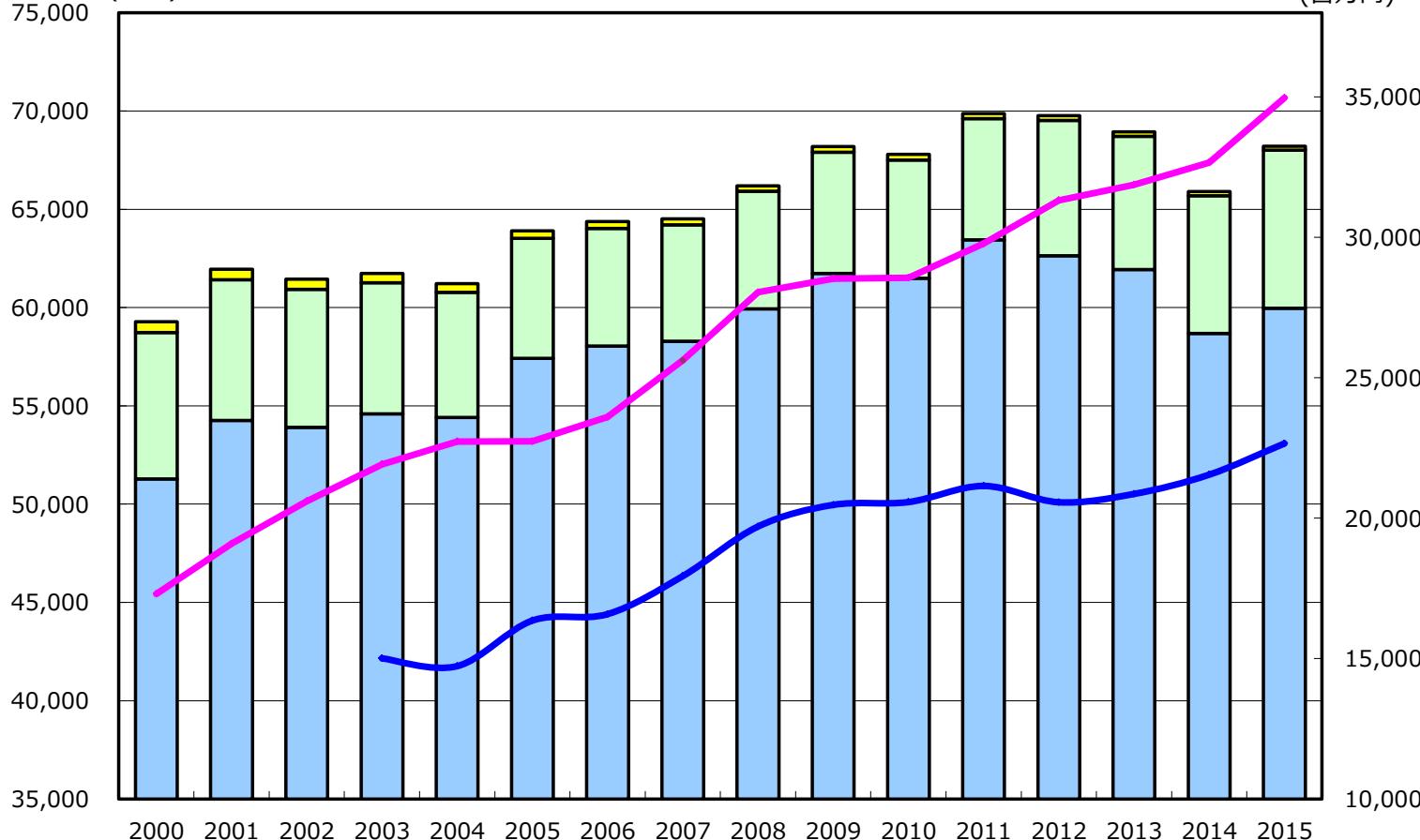


第56回2017ジャパンパッケージング
コンペティションにて受賞した
化粧品市場向けパッケージ

1. 国内医薬品生産金額の増加

国内医薬品生産高

(億円)



※1 薬事工業生産動態統計年報（厚生労働省）医薬品生産金額の推移に基づきグラフ化

※2 横軸は、医薬品生産高については暦年、朝日印刷連結売上については年度

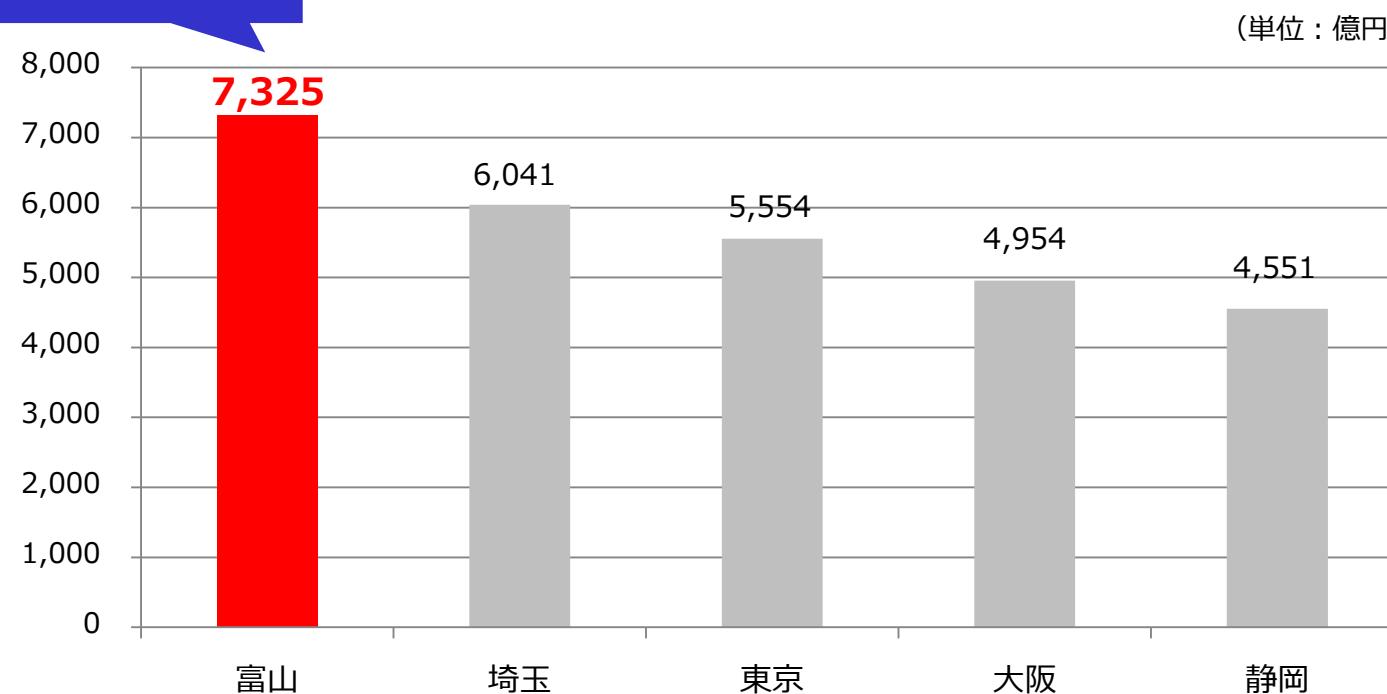
2. 薬機法改正による医薬品製造委受託の規制緩和

■ 受注先（発注元）の全国への拡散

- 全国20拠点の販売網で委託先と受託先の双方向への提案により受注機会の拡大
- 地元富山の医薬産業の発展と共に成長

富山県では
医薬品生産額1兆円を目指しています！

全国1位へ！



主要都道府県別 医薬品生産金額 (平成27年)

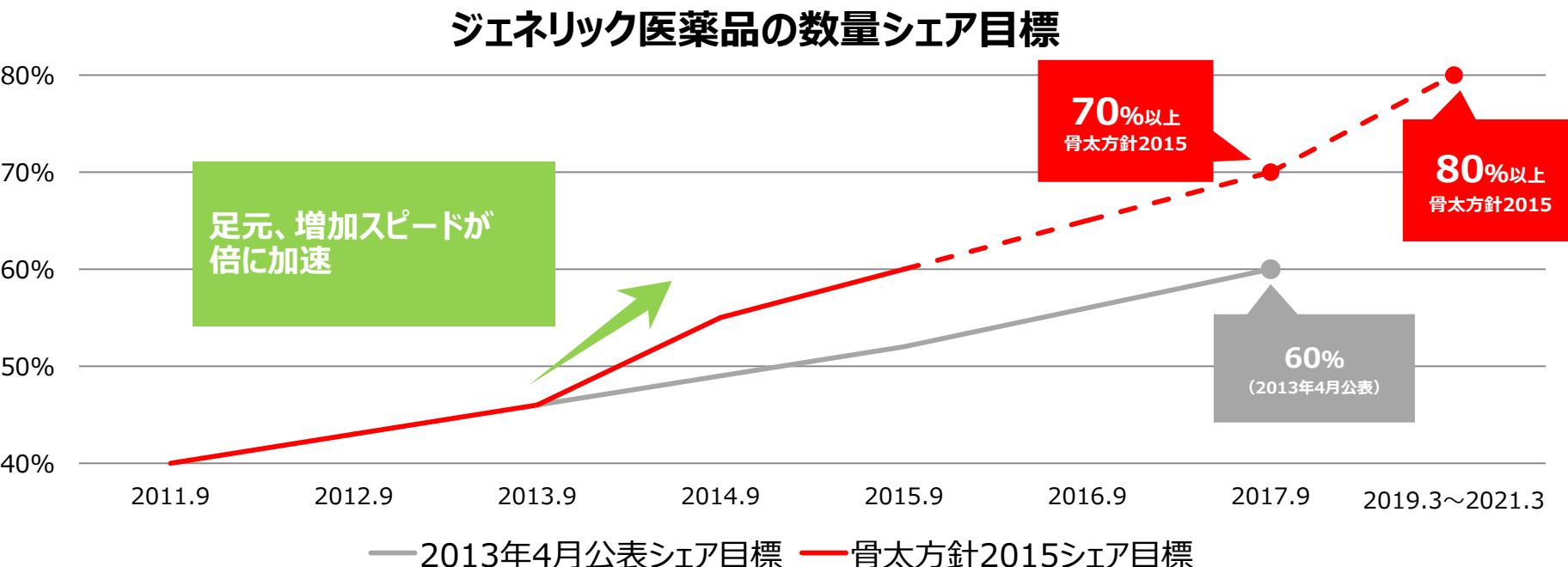
3. 骨太の改革

ジェネリック医薬品の普及促進

- 厚生労働省 数値目標
⇒ 2018~2020年のなるべく早い時期に
GE使用量を**80%**にする
(品数の増加)
- スイッチOTCの増加

<当社予測>

医薬品使用量は、
老齢人口の増加と
GE普及促進により
医療用を中心として
当面の間、**増加**する





『調肉青インク』

3. 2017年3月期 連結決算概要

- ・17/3期は、增收減益予測でスタート（京都CP償却費など固定費の増加）
- ・期初予想に対しては、売上・利益とも目標達成
- ・受注増に対応するため、設備投資計画を前倒し

(単位：百万円)

	2017/3期		2016/3期		前期比増減		期初 予想比 (%)
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%	
売上高	37,591	100.0	34,966	100.0	+2,625	+7.5	+3.8
営業利益	2,484	6.6	2,525	7.2	▲41	▲1.6	+5.3
経常利益	2,801	7.5	2,806	8.0	▲5	▲0.2	+8.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,845	4.9	1,851	5.3	▲5	▲0.3	+8.5
EPS (円)	172.11	—	174.08	—	▲1.97	—	—
ROA	3.7	—	3.8	—	▲0.1	—	—
ROE	7.3	—	7.7	—	▲0.4	—	—
減価償却費	2,201	—	1,911	—	+290	—	—
設備投資額	4,359	—	3,457	—	+902	—	—

京都CP土地含む
(生産設備投資
2,043百万円)

- ・医薬品向け市場は、医療用市場向けは昨年同水準で推移、OTC向け市場が伸長
- ・化粧品向け市場は、インバウンド等で市場が活況、新製品増加
- ・包装システム販売も活発な設備投資と、ニーズに合った提案で大きく伸長

(単位：百万円)

	2017/3期		2016/3期		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
印刷包材事業 計	33,386	88.8	32,364	92.6	+1,022	+3.2
医薬品市場向け	23,225	61.8	22,658	64.8	+567	+2.5
化粧品市場向け	5,404	14.4	5,085	14.5	+319	+6.3
健康食品・一般市場向け	3,800	10.1	3,548	10.2	+252	+7.1
製版・デザイン	957	2.5	1,073	3.1	▲116	▲10.8
包装システム	3,976	10.6	2,387	6.8	+1,589	+66.6
人材サービス	229	0.6	216	0.6	+13	+6.0
売上高合計	37,591	100.0	34,966	100.0	+2,625	+7.5

要約損益計算書

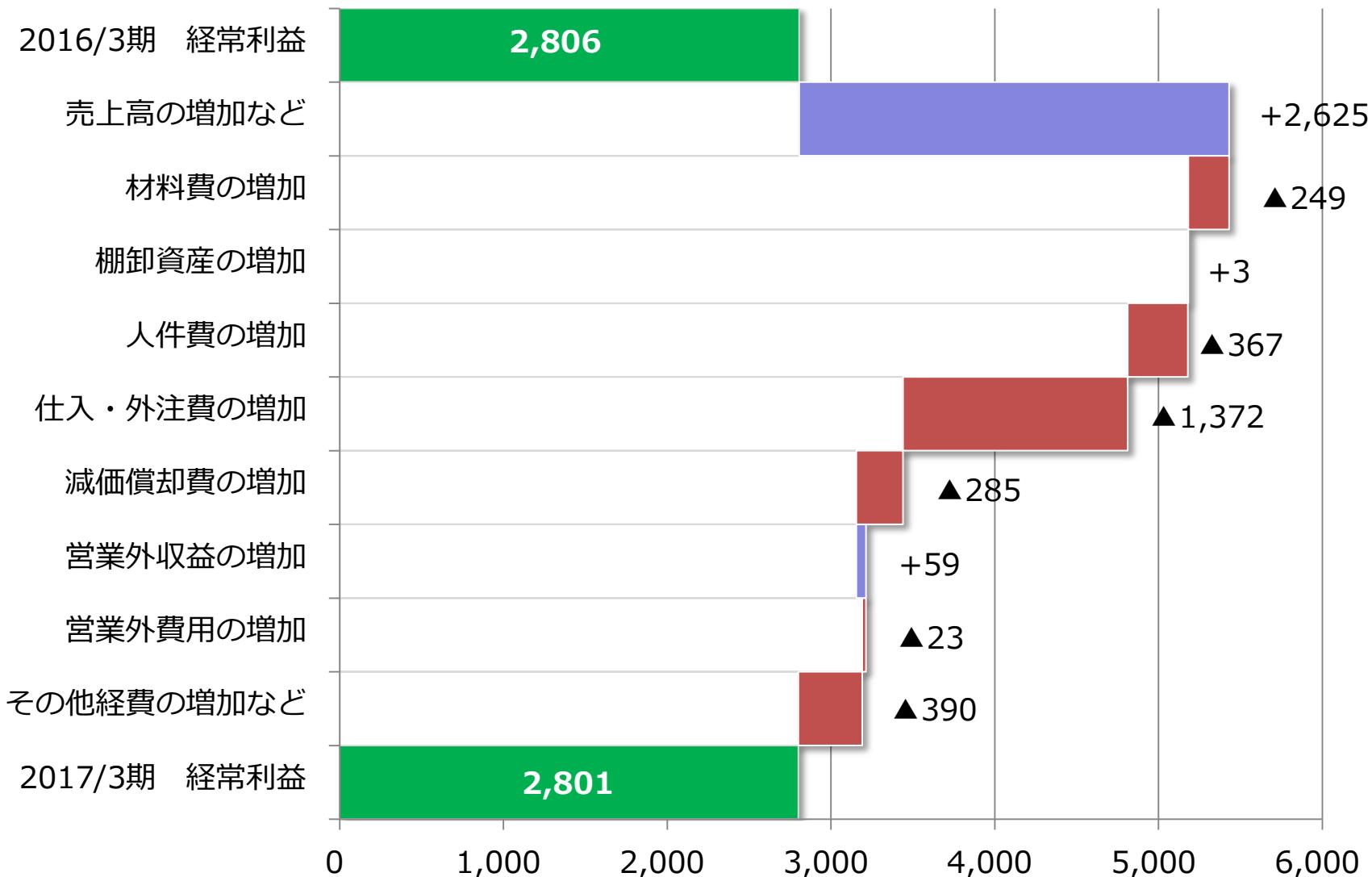
(単位：百万円)

	2017/3期		2016/3期		前期比増減	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%
売上高	37,591	100.0	34,966	100.0	+2,625	+7.5
売上原価	28,951	77.0	26,613	76.1	+2,338	+8.8
売上総利益	8,640	23.0	8,353	23.9	+287	+3.4
販管費	6,156	16.4	5,827	16.7	+328	+5.6
営業利益	2,484	6.6	2,525	7.2	▲41	▲1.6
営業外損益	317	0.8	280	0.8	+36	+12.8
経常利益	2,801	7.5	2,806	8.0	▲5	▲0.2
特別損益	▲83	▲0.2	▲92	▲0.2	+8	▲8.7
税引前利益	2,717	7.2	2,714	7.8	+3	+0.1
法人税等	842	2.2	834	2.4	+8	+1.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,845	4.9	1,851	5.3	▲5	▲0.3

- ・原価率
円安に伴う原材料費上昇や原価償却費負担増で原価率はやや悪化
- ・償却費の増加
京都C P建設による償却費の増加

経常利益の増減分析

(単位：百万円)



要約貸借対照表

(単位：百万円)

	2017/3期	2016/3期	増減額
流動資産	18,952	19,593	▲641
現金及び預金	3,867	4,553	▲686
売上債権	12,404	11,546	+858
棚卸資産	2,105	2,006	+99
固定資産	31,152	29,676	+1,476
有形固定資産	23,654	21,972	+1,682
資産合計	50,105	49,269	+836
流動負債	13,227	13,113	+114
仕入債務	6,846	7,633	▲787
短期有利子負債	1,940	1,773	+167
固定負債	10,855	11,108	▲253
長期有利子負債	8,467	8,538	▲71
負債合計	24,083	24,222	▲139
純資産合計	26,022	25,047	+975

現金及び預金 ▲6億86百万円
・固定資産の取得、原材料の仕入れに充当

有形固定資産 +17億81百万円
・京都CP土地購入

純資産 +9億75百万円
・利益剰余金 +12億78百万円

- ・ 営業CFは39億円の資金の流入、投資CFは35億円の資金の流出
- ・ 借入金（有利子負債）の流出により、財務CFは11億円の資金の流出

(単位：百万円)

	2017/3期	2016/3期
営業キャッシュ・フロー	3,998	3,486
税引前利益	2,717	2,714
減価償却費	2,201	1,911
売上債権の増減額（▲は増加）	▲1,082	19
棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲99	▲82
仕入債務の増減額（▲は減少）	362	312
法人税等の支払額	▲733	▲952
投資キャッシュ・フロー	▲3,510	▲2,608
有形固定資産の取得による支出	▲3,170	▲2,793
財務キャッシュ・フロー	▲1,173	1,074
短期・長期借入金のネット収支	▲338	1,373
現金及び現金同等物の期中増減額（▲は減少）	▲686	1,956
現金及び現金同等物の期末残高	3,867	4,553

4. 中期経営計画AD2016計画振り返り

AD2016スローガン

「Change For The Future!
印刷包材提供企業から感動提供企業へ」

Change!!

感動!!

ぶっちぎり!!

【経営指標】

	目標	実績	評価
単体売上高	300 億円以上	354 億円	◎
単体 営業利益率	2016年 10%	2016年 6.0%	✗
株主還元	配当性向 30%	配当性向 30.2%	◎

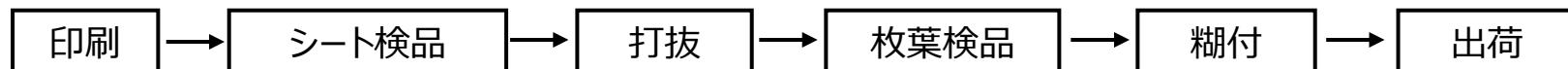
【成長戦略】

	戦略	評価
戦略 1	顧客満足度 UP (CS)	△
戦略 2	従業員満足度 UP (ES)	△
戦略 3	新人事制度構築	○
戦略 4	海外事業基盤構築	△

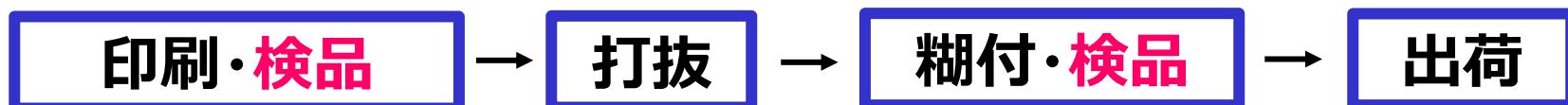
- ①売上・利益以外では、株主還元として配当性向 30%以上を掲げ、目標達成
- ②海外ではシンガポールに現地法人を設立し、市場調査を継続
- ③CS・ESについては、高負荷が続き、達成度は不十分
省人化・省力化を次期中期計画における重要課題に

業界初のモノ作りにチャレンジ

従来の印刷工程フロー



京都クリエイティブパークの印刷工程フロー



検品機能をビルトインした設備を業界初導入

ジェネリック医薬品増産施策と超マッチ！

医薬品印刷包材を供給するメーカーとしての更なる使命を果たす！！

・リスク分散(BCP)に関する対応

・生産負荷分散による既存工場での残業時間短縮

・休日出勤の削減

・「新たなモノ作り」全社的展開による生産性向上

→ 労務費削減、
従業員の身体的負荷低減、
ワークライフバランス推進



5. 新・中長期経営計画

AD20**21**計画

AD2021スローガン

『Open』 The Future ! !

包むこころを大切に
日本と世界へ新しい包装文化を発信する

チエンジ！！感動！！ぶっちぎり！！



3カ年中期計画

日常業務

経営理念

【創業200年の夢】
“自分の子供や孫の世代も入社させたい”
朝日印刷グループで働く
世界中のだれもが、
そう思える会社を創りたい

私達は、美と健康の包装に関する分野で
包むこころを大切に
日本と世界へ新しい包装文化を発信する

コア事業領域

私達は
美と健康に関する分野で、
包装を核とした
商品とサービスを提供する

2021年度数値目標

- ・連結売上高 450億円
- ・営業利益 10.0%
- ・ROE 8.00%
- ・配当性向 30.0%以上

基本方針

お客様本位

私達は、常にお客様の立場に立って考動し、
笑顔と感動を提供する企業を目指します

選ばれる企業

私達は世界中のお客様に安心・安全と、
新たな付加価値のある商品・サービスを
提供します

働きがい企業

私達は、Asahiファミリーとしてお互いを
思いやり、笑顔が溢れる企業を目指します

社会貢献

私達は、暮らしと心の豊かさを大切にし、
社会から尊敬される企業を目指します

成長ロードマップ①

朝日印刷株式会社

2012年～2016年

2017年～2021年

AD2016計画

AD2021計画

①2017年～2019年

*グループ内保有設備の稼働率UPに向けた準備期間
(モノ作り体制のチェンジ)

②2019年～2021年

*チェンジしたモノ作り体制を成長ドライバーとし
早期に成長軌道に乗せ、目標達成へ！

持続的成長

企業価値・
株主価値の極大化

2015年

- ・京都クリエイティブパーク新設
(初の県外生産拠点)
- ・しごとチェンジ推進室設置
(営業改革実施)

2017年

- ・しごとチェンジ推進室を
中心に生産改革に着手
- ・生産設備増強投資

2019年

- ・多様性のある人材活用に向けた
制度を実現

2021年

グループ新生産体制確立

2018年

- ・省人・省力化への投資
- ・海外取引スタート

2020年

- ・グループ内シェアードサービス開始

営業利益率

6.6%



8.0%

10.0%

ROE

7.3%



8.0%

連結
売上高
450億

連結
売上高
375億

新たなマーケットへの事業展開

包装システムサービス+エンジニアリング機能

新事業計画

海外事業計画

包装システム
エンジニアリング事業

包装システム販売

化粧品向け
印刷包材

医薬品向け
印刷包材

印刷
包材事業

持続的な競争力
・成長力を実現

堅調な成長を支える事業領域

2016年
現 在

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

中期経営計画期間

(AD2021計画 最終年度)

1

戦略的売上拡大

ファーストコールカンパニーとして、
美と健康市場でシェアNo. 1を極める

2

利益追求

付加価値生産性の最大化を目指し、
営業利益率10%以上を目指す

3

お客様満足向上

全社一丸となった最高の商品・サービスを
提供し、お客様に選ばれ続ける企業を目指す

4

海外進出

Asahiワンストップサービスを実現し、
海外市場における販売・製造拠点を確立する

5

人財育成

多様な人材を獲得し、業界No. 1企業として
幅広い知識と経験を持った人財を育成する

6

技術・開発

他社に先駆けたオリジナルイノベーションを
創出し、包装業界をリードする

7

働き方改革

ワークライフバランスのとれた
従業員満足度No. 1企業を目指す

8

財務戦略

計画的な財務戦略に基づき、
環境変化に柔軟に対応した経営を実現する

9

CSR

安心・安全・環境をテーマに、
地域社会に貢献できる企業を目指す

10

グループ戦略

Asahiグループ全従業員が、最高の
パフォーマンスを発揮できる体制を構築する

長期ビジョン達成

1

戦略的売上拡大

長期ビジョン：

ファーストコールカンパニーとして、
美と健康市場でシェアNo. 1を極める

中期経営課題(基本戦略)

より高いサービス提供による売上シェアの拡大

新たなサービスの創出による売上拡大

2

利益追求

長期ビジョン：

付加価値生産性の最大化を目指し、
営業利益率10%以上を目指す

生産性10%以上UP

原材料費を抑える

変動費を抑える

収益の改善

長期ビジョン達成

中期経営課題(基本戦略)

3

お客様
満足向上

長期ビジョン：

全社一丸となった最高の商品・サービスを提供し、お客様に選ばれ続ける企業を目指す



6. 本期2018年3月期 連結業績予測



富山工場

- ・売上高は1.1%增收、営業増益2.2%の増益予想
- ・包材売上の物量増に対して、朝日グループ全体で生産設備増強を計画
- ・減価償却費や設備投資など、費用増加

(単位：百万円)

	2018/3期 予想		2017/3期		前期比増減	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%
売上高	38,000	100.0	37,591	100.0	+409	+1.1
営業利益	2,540	6.7	2,484	6.6	+56	+2.2
経常利益	2,820	7.4	2,801	7.5	+19	+0.7
親会社株主に帰属する当期純利益	1,920	5.1	1,845	4.9	+75	+4.1
EPS (円)	179.01	—	172.11	—	+6.9	—
ROA	3.9	—	3.7	—	+0.2	—
ROE	7.3	—	7.3	—	±0.0	—
減価償却費	2,329	—	2,201	—	+128	—
設備投資額	3,321	—	4,359	—	▲1,038	—

前年大幅增收の機械売上は減収見込みも、包材売上増加により增收計画

- ・医薬品市場向けについて、GE市場・OTC市場向けは増加も長期収載品は減少予測
- ・化粧品市場向けは、今期も伸長を予測

(単位：百万円)

	2018/3期 計画		2017/3期		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
印刷包材事業 計	34,160	89.9	33,386	88.8	+774	+2.3
医薬品市場向け	23,710	62.4	23,225	61.8	+485	+2.1
化粧品市場向け	5,620	14.8	5,404	14.4	+216	+4.0
健康食品・ 一般市場向け	3,830	10.1	3,800	10.1	+30	+0.8
製版・デザイン	1,000	2.6	957	2.5	+43	+4.5
包装システム	3,590	9.4	3,976	10.6	▲386	▲9.7
人材サービス	250	0.7	229	0.6	+21	+9.2
売上高合計	38,000	100.0	37,591	100.0	+409	+1.1

配当について

2017年
3月期
52円

中間配当金

1株当たり
15円

期末配当金

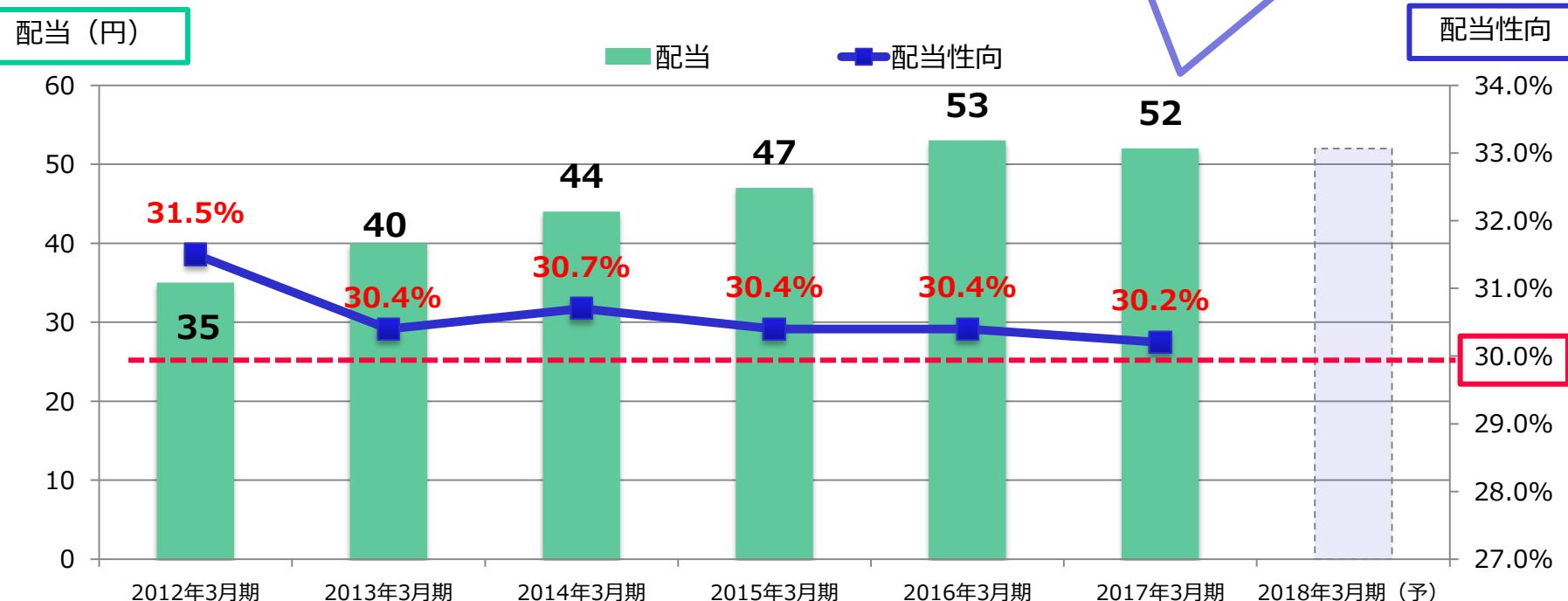
1株当たり
15円

記念配当

1株当たり
22円

配当性向

1株当たり
30.2%



ご清聴ありがとうございました！

＜お問い合わせ＞ 朝日印刷株式会社 社長室

TEL : 076-491-6137

HP URL : <http://www.asahi-pp.co.jp/>

・この配布資料に記載されている業績予想および見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知下さい。

・投資者一般への情報伝達を目的としており、当社の株式その他の有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。



立山黒部アルペンルート
雪の大谷ウォーク

きてきて富山
きときと富山
2015年春 北陸新幹線開業